

第101回 (566, 529)

日 時 平成23年6月18日(土)正午12時00分～午後5時20分 19日(日)午前9時30分～午後3時30分
会 場 札幌学院大学 G館1階ホール及びD館202号室
研究報告 総合司会 小関健三

- 1 譲渡所得課税の特例制度の理論的基礎(税法学565号参照) 伊川正樹
〔司会者〕林真義
〔質問者〕占部裕典, 青柳達朗, 竹本守邦, 宮本十至子
- 2 シンポジウム基調報告(1): 役員給与の課税をめぐる基本的な問題(税法学565号参照) ハツ尾順一
- 3 シンポジウム基調報告(2): 同族会社における役員給与の問題(税法学565号参照)
中島茂幸
- 4 シンポジウム基調報告(3): 役員給与と所得区分等の問題(税法学565号参照) 竹内 進
- 5 非営利団体に対する公共政策と課税(税法学565号参照) 戸井健太郎
〔司会者〕千葉寛樹
〔質問者〕田中治, 青柳達朗, 右山昌一郎

シンポジウム 役員給与の課税をめぐる法的諸問題 司会 谷口勢津夫

総 会 議長 石島弘。【審議事項】①新役員承認。②平成22年度収支決算承認。③平成23年度予算承認。④第102回大会・総会以降の開催場所等の承認。【報告事項】①会費未納者6名につき役員会で除籍が決定された。②入会申込者78名の入会が役員会で承認された。③日本税法学会のホームページを開設した。④「税法学」が査読付きの機関誌である旨が明記されている(「学会入会申込要領」に記載)ので、その趣旨(今後とも、(1)できるだけ水準の高い論文等を世に問う仕組みを維持したい、(2)自由闊達な研究活動の一環として、執筆者の論旨をより明確に、論証をより説得的、正確にするなどの見地から、学会として、指導、援助をするという姿勢を改めて明示したもの)を十分にご理解いただきたい。⑤理事長の挨拶。

懇 親 会 札幌学院大学 G館8階(出席者120名)

出 席 者 146(来賓3, 賛助会員3, 本部2, 北海道・東北18, 関東27, 中部24, 関西28, 中四国9, 九州・沖縄25, 入会希望者27, 傍聴49)

第102回(創立60周年記念大会)(568, 205)

日 時 平成24年6月9日(土)午後0時～午後4時55分 10日(日)午前9時30分～午後3時30分
会 場 立命館大学朱雀キャンパス大講義室及び多目的室
研究報告 総合司会 浦東久男

- 1 2009年以降のイギリスの税務調査について(税法学566号[創立60周年記念号]参照)
宮谷俊胤
〔司会者〕山崎広道
〔質問者〕青柳達朗, 山田二郎, 小山章仁, 右山昌一郎, 谷口勢津夫
- 2 申告書の作成と専門職責任(税法学566号[同]参照) 高橋祐介
〔司会者〕林真義
〔質問者〕木山雅人, 増田英敏, 山田二郎, 青柳達朗, 谷口勢津夫, 田中治, 山下学
- 3 誤った課税の是正方法のあり方(税法学566号[同]参照) 水野武夫
〔司会者〕谷口勢津夫
〔質問者〕野一色直人, 木村弘之亮, 山本洋一郎, 青柳達朗, 田中治
- 4 高齢者「引取扶養」から「介護の社会化」へ(税法学566号[同]参照) 遠藤みち
〔司会者〕木村弘之亮

〔質問者〕上埜陽子，青柳達朗，田中治，山田二郎

- 5 アメリカ税法における現物分配と子会社清算（税法学566号〔同〕参照） 渡辺徹也

〔司会者〕山崎広道

〔質問者〕村井正，右山昌一郎，青柳達朗，山田二郎

- 6 ドイツ相続税法の改正と事業承継税制（税法学566号〔同〕参照） 奥谷 健

〔司会者〕佐々木潤子

〔質問者〕右山昌一郎，青柳達朗，山下学，鳥飼貴司

- 7 租税法主義の現代的意義（税法学566号〔同〕参照） 田中 治

〔司会者〕谷口勢津夫

〔質問者〕山田二郎，木村弘之亮，青柳達朗，右山昌一郎，相京溥士，今村隆，渡辺徹也

総 会 議長 石島弘。【審議事項】①「税法学」の電子化に関する経緯の説明の後，初期の「税法学」の紙質の劣化に対処するための緊急対策が承認された。②平成23年度の収支決算の承認。③平成24年度予算の承認。④第103回大会・総会の開催日及び開催場所の決定。【報告事項】①会費未納者11名につき役員会で除籍が決定された。②入会申込者65名の入会が役員会で承認された。③その他。

懇 親 会 京都ホテルオークラ（出席者150名）

出 席 者 227（来賓4，賛助会員2，本部2，北海道・東北14，関東29，中部35，関西66，中四国15，九州・沖縄39，入会希望者23，傍聴53）

第103回（570，213）

日 時 平成25年6月8日（土）午後12時～午後5時20分 9日（日）午前10時～午後3時35分

会 場 鹿児島県医師会館大ホール及び中ホール

研究報告 総合司会 丸山隆寛

- 1 処分理由の附記と理由の差替え（税法学569号参照） 山崎広道

〔司会者〕渡辺徹也

〔質問者〕野一色直人，山田二郎，谷口勢津夫，青柳達朗，右山昌一郎，田中治

- 2 シンポジウム基調報告(1)：納税者権利憲章の意義と課題（税法学569号参照） 望月 爾

- 3 シンポジウム基調報告(2)：納税申告の誤りの是正をめぐる問題—更正の請求と処分理由附記を中心に（税法学569号参照） 山本洋一郎

- 4 シンポジウム基調報告(3)：質問検査手続の改正と課題（税法学569号参照） 金井恵美子

- 5 時効を起因とする所得と財産の取得認定と課税問題（税法学569号参照） 荻米 裕

〔司会者〕増田英敏

〔質問者〕山本洋一郎，青柳達朗

シンポジウム 租税行政手続をめぐる法的諸問題 司会 谷口勢津夫，渡辺徹也

総 会 議長 石島弘。【審議事項】①新役員の承認。②平成24年度収支決算の承認。③平成25年度予算の承認。④第104回大会の開催日及び開催場所の確認。⑤第104回大会におけるシンポジウムのテーマは，「源泉徴収等をめぐる法的諸問題」とする等の内容を提案し，承認された。⑥第105回大会は，平成27年6月の第3土・日に，中部地区（名古屋）において開催することが提案され，了承された。通常で開催日時（6月の第2土・日）とは違うので注意されたい。【報告事項】①会費未納者10名につき役員会で除籍が決定された。②入会申込者45名の入会が役員会で承認された（会員総数は1,008名）。③第106回大会以降の開催場所。④「税法学」の電子

化について、1号から180号までをDVD化したこと、閲覧を希望する者は各地区総務委員長に依頼すること、資料のコピーは実費にて直接清文社に依頼すること等の報告があった。⑤「税法学」の執筆要領の整備につき報告があった。編集委員長は谷口勢津夫会員に委嘱することが報告された。⑥理事長の挨拶。

懇親会 鹿児島県医師会館中ホール（出席者約150名）

出席者 226（来賓4，賛助会員2，本部2，北海道・東北6，関東27，中部22，関西31，中四国13，九州・沖縄70，入会希望者17）

第104回（572，213）

日時 平成26年6月14日（土）午後12時～午後5時20分 15日（日）午前10時～午後3時35分

会場 立正大学品川（旧・大崎）キャンパス石橋湛山記念講堂及び4号館412教室

研究報告 総合司会 竹内進

- 1 租税の意義について（税法学571号参照） 片上孝洋
〔司会者〕奥谷健
〔質問者〕伊藤悟，青柳達朗，望月爾，紙博文，長谷川芳孝
- 2 シンポジウム基調報告(1)：源泉徴収制度等の存在理由（税法学571号参照） 田中 治
- 3 シンポジウム基調報告(2)：「経済的価値」を対象とする源泉徴収制度の考察（税法学571号参照） 脇谷英夫
- 4 シンポジウム基調報告(3)：源泉徴収過程における過誤の是正に関する一考察（税法学571号参照） 高橋祐介
- 5 特別報告：行政不服審査法の全文改正に伴う国税通則法改正の意義と問題点 水野武夫
- 6 租税法律主義と租税法における政令委任の範囲（税法学571号参照） 長島 弘
〔司会者〕山下学
〔質問者〕青柳達朗，金子友裕

シンポジウム 源泉徴収等をめぐる法的諸問題 司会 谷口勢津夫，増田英敏

総 会 議長 石島弘。【審議事項】①平成25年度収支決算の承認。②平成26年度予算の承認。③第105回大会の開催日及び開催場所の確認。④第105回大会におけるシンポジウムのテーマは、「消費税をめぐる法的諸問題」とする等の内容を提案し，承認された。⑤第106回大会の開催日及び開催場所について。【報告事項】①会費未納者5名につき役員会で除籍が決定された。②入会申込者37名の入会が役員会で承認された（会員総数は1,002名）。③近時，「税法学」の執筆要領を整備してきたところであるが，執筆者は執筆容量を十分に理解した上で，引用方法等に関して統一的処理をする，原稿段階で完成稿とし，初校で大きく手直しをすることは避けるなど，十分な配慮をお願いしたい。

懇親会 ゆうほうと（出席者約120名）

出席者 198（来賓2，賛助会員2，本部2，北海道・東北11，関東46，中部34，関西39，中四国15，九州・沖縄36，入会希望者11）

第105回（574，287）

日時 平成27年6月13日（土）午後12時～午後5時20分 14日（日）午前10時～午後3時35分

会場 名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎翼館4Fクラインホール及び3F304教室

研究報告 総合司会 林真義

- 1 取引相場のない株式の譲渡時価について一会社法との比較並びに税目間の差異及び負債の範囲を中心に(税法573号参照) 竹本守邦

[司会者] 伊藤雄太

[質問者] 齋藤孝一, 青柳達朗, 今村隆, 波多野徹

- 2 シンポジウム基調報告(1): 消費税における事業者と消費者(税法573号参照) 西山由美
- 3 シンポジウム基調報告(2): 消費税における課税対象(税法573号参照) 野一色直人
- 4 シンポジウム基調報告(3): 消費税における簡易課税制度等の存在理由(税法573号参照) 森田辰彦
- 5 青色申告制度について一白色申告者の事務負担(税法573号参照) 武田浩明

[司会者] 千葉寛樹

[質問者] 青柳達朗, 田中治, 林真義, 齋藤孝一, 酒井克彦

シンポジウム 消費税をめぐる法的諸問題 司会 谷口勢津夫, 高橋祐介

総 会 議長 石島弘。【審議事項】①新役員の承認。②平成26年度取支決算の承認。③平成27年度予算の承認。④第106回大会の開催日及び開催場所の確認。⑤第106回大会におけるシンポジウムのテーマは、「税法上の経費控除をめぐる法的諸問題」とする等の内容を提案し、承認された。⑥第107回大会の開催日及び開催場所について。【報告事項】①会費未納者8名につき役員会で除籍が決定された。②入会申込者36名(午後の役員会で更に1名追加)の入会が役員会で承認された。③近時、「税法」の執筆要領を整備してきたところであるが、執筆者は執筆容量を十分に理解した上で、引用方法等に関して統一的処理をする、原稿段階で完成稿とし、初稿で大きく手直しをすることは避けるなど、十分な配慮をお願いしたい。

懇 親 会 名古屋国際会議場(出席者約130名)

出 席 者 195(来賓3, 賛助会員2, 本部2, 北海道・東北12, 関東32, 中部43, 関西43, 中四国13, 九州・沖縄34, 入会希望者11)

第106回(576, 215)

日 時 平成28年6月11日(土)正午~午後5時10分 12日(日)午前10時~午後3時35分

会 場 広島国際会議場 地下2階大会議室ダリア

研究報告 総合司会 奥谷 健

- 1 ストックオプション課税についての一考察(税法575号参照) 前田謙二

[司会者] 谷口勢津夫

[質問者] 青柳達朗, 浦東久男, 小塚真啓, 宮本十至子

- 2 シンポジウム基調報告(1): 必要経費の意義と内容(税法575号参照) 奥谷 健
- 3 シンポジウム基調報告(2): 譲渡所得における取得費の引継ぎと二重課税論(税法575号参照) 福岡耕二
- 4 シンポジウム基調報告(3): 債務確定の法的意義(税法575号参照) 渡辺徹也
- 5 知的財産権を利用した租税回避をめぐる問題(税法575号参照) 谷口智紀

[司会者] 奥谷 健

[質問者] 小塚真啓, 村井 正, 鳥飼貴司, 青柳達朗, 林 幸一, 泉山 殖, 増田英敏

シンポジウム 経費控除をめぐる法的諸問題 司会 谷口勢津夫

総 会 議長 石島 弘。【審議事項】①平成27年度取支決算の承認。②平成28年度予算の承認。

③税法執筆要領の改訂。④第107回大会の開催日及び開催場所の確認。⑤第107回大会にお

けるシンポジウム等の内容。⑥第108回大会の開催日及び開催場所の確認。【報告事項】①会費未納者5名につき役員会で除籍が決定された。②入会申込者45名の入会が役員会で承認された。③第109回大会以降の開催場所につき、暫定的に、関東地区(2019年)、中部地区(2020年)、北海道地区(2021年)、関西地区(2022年、創立70周年記念大会)を予定することが報告された。

懇親会 広島市文化交流会館(出席者151名)

出席者 207名(来賓1, 賛助会員2, 本部2, 北海道・東北9, 関東31, 中部32, 関西43, 中四国24, 九州・沖縄44, 入会希望者19)

第107回(578, 249)

日時 平成29年6月10日(土)正午～午後5時10分 11日(日)午前10時～午後3時35分

会場 大阪大学豊中キャンパス 大阪大学会館

研究報告 総合司会 一高龍司

- 1 アメリカ及びカナダにおける租税回避へのアプローチ(税法学577号参照) 本部勝大
〔司会者〕高橋祐介
〔質問者〕宮本十至子, 青柳達朗, 小塚真啓, 村井 正, 田中 治
- 2 シンポジウム基調報告(1): 租税回避の法的意義・評価とその否認(税法学577号参照)
谷口勢津夫
- 3 シンポジウム基調報告(2): 行為計算の否認規定をめぐる紛争(税法学577号参照) 今
村 隆
- 4 シンポジウム基調報告(3): 課税情報の収集と利用を通じた租税回避規制の課題(税法学
577号参照) 倉見智亮
- 5 オーストラリア所得税法における一般的租税回避否認規定(税法学577号参照) 酒井
貴子
〔司会者〕ハツ尾順一
〔質問者〕村井 正, 青柳達朗, 森田純弘, 小塚真啓

シンポジウム 租税回避をめぐる法的諸問題 司会 ハツ尾順一, 渡辺徹也

総 会 議長 林 眞義。【審議事項】①役員会の承認。②平成28年度収支決算の承認。③平成29年度予算の承認。④税法学執筆要領の改訂。⑤第108回大会の開催日及び開催場所の確認。⑥第108回大会におけるシンポジウム等の内容。⑦第109回大会の開催日及び開催場所の確認。【報告事項】①会費未納者7名につき役員会で除籍が決定された。②入会申込者50名の入会が役員会で承認された。③第110回大会以降の開催場所につき、暫定的に、中部地区(2020年)、北海道地区(2021年)、関西地区(2022年、創立70周年記念大会)、九州地区(2023年)、中四国地区(2024年)、関東地区(2025年)、中部地区(2026年)を予定することが報告された。

懇親会 宝塚ホテル(出席者172名)

出席者 248名(来賓1, 賛助会員2, 本部2, 北海道・東北9, 関東41, 中部36, 関西68, 中四国23, 九州・沖縄41, 入会希望者25)

第108回(580, 169)

日時 平成30年8月9日(土)正午～午後5時10分 10日(日)午前10時～午後3時35分

会場 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 彩海の間

研究報告 総合司会 井上むつき

- 1 所得の年度帰属—収入実現の蓋然性とその客観的認識（税法学579号参照） 田中晶国
〔司会者〕山崎広道
〔質問者〕小塚真啓, 田中 治, 谷口勢津夫, 酒井克彦, 伊川正樹, 小関健三, 青柳達朗
- 2 シンポジウム基調報告(1): 所得税法上の所得区分の在り方（税法学579号参照） 酒井克彦
- 3 シンポジウム基調報告(2): 扶養控除のあり方—子育て世帯に焦点を当てて（税法学579号参照） 野口 浩
- 4 シンポジウム基調報告(3): 高齢社会と税のあり方（税法学579号参照） 八ツ尾順一
- 5 源泉置換規定についての一考察（税法学579号参照） 木村浩之
〔司会者〕谷口勢津夫
〔質問者〕大野雅人, 高橋祐介, 青柳達朗

シンポジウム 近時の所得税等をめぐる法的諸問題—解釈論と立法論の両面から 司会 谷口勢津夫
総 会 議長 林 眞義。【審議事項】①平成29年度収支決算の承認。②平成30年度予算の承認。③第109回大会の開催日及び開催場所の確認。④第109回大会におけるシンポジウム等の内容。⑤第110回大会の開催日及び開催場所の確認。⑥「税法学」の校正は原則1回とすること, 初校において大幅な修正等をしないこと, 及び執筆要領の形式等に従って執筆することが確認された。【報告事項】①会費未納者5名につき役員会で除籍が決定された。②入会申込者61名の入会が役員会で承認された。③第111回大会以降の開催場所につき, 暫定的に, 北海道地区(2021年), 関西地区(2022年, 創立70周年記念大会), 九州地区(2023年), 中四国地区(2024年), 関東地区(2025年), 中部地区(2026年)を予定することが報告された。④九州地区が本年9月1日(土)に第400回記念研究会を, 中部地区が本年11月10日(土)に第500回記念大会を予定しているので, 参加希望者は各地区担当者に連絡されたい。

懇 親 会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー宴会場(出席者126名)

出 席 者 151名(来賓1, 賛助会員2, 本部2, 北海道・東北2, 関東29, 中部24, 関西25, 中四国12, 九州22, 沖縄15, 入会希望者17)

第109回(582, 235)

日 時 令和元年6月8日(土)正午～午後5時10分 9日(日)午前10時～午後3時35分

会 場 明治学院大学白金キャンパス 3号館3201教室

研究報告 総合司会 竹内 進

- 1 米国所得課税における課税所得の認識の法的統制（税法学581号参照） 山本直毅
〔司会者〕増田英敏
〔質問者〕青柳達朗, 田中 治, 野一色直人, 高橋祐介, 酒井克彦
- 2 シンポジウム基調報告(1): 調査手続の法的整備と残された問題（税法学581号参照）
菅納敏恭
- 3 シンポジウム基調報告(2): 国税通則法の改正と更正の理由附記（税法学581号参照）
増田英敏
- 4 シンポジウム基調報告(3): 源泉徴収義務をめぐる近時の法的諸問題（税法学581号参照）
片山直子
- 5 憲法84条の「租税」と国民健康保険料（税法学581号参照） 片上孝洋
〔司会者〕奥谷 健

〔質問者〕 森田純弘, 田中 治, 谷口勢津夫, 伊川正樹, 青柳達朗
シンポジウム 近時の租税手続をめぐる法的諸問題 司会 谷口勢津夫
総 会 議長 林 眞義。【審議事項】①役員承認。②平成30年度収支決算承認。③平成31年度予算承認。④第110回大会開催日及び開催場所確認。⑤第110回大会におけるシンポジウム等の内容。⑥第111回大会開催日及び開催場所確認。【報告事項】①会費未納者7名につき役員会で除籍が決定された。②入会申込者36名の入会が役員会で承認された。③第112回大会以降の開催場所につき、暫定的に、関西地区(2022年, 創立70周年記念大会), 九州地区(2023年), 中四国地区(2024年), 関東地区(2025年), 中部地区(2026年)を予定することが報告された。

懇 親 会 明治学院大学パレットゾーン2階インナー広場「さん・サン」(出席者133名)
出席者 193名(来賓0, 賛助会員3, 本部2, 北海道・東北4, 関東48, 中部33, 関西41, 中四国18, 九州32, 沖縄2, 入会希望者10)

第110回 (585, 287)

日 時 令和2年11月21日(土) 午前11時30分～午後5時20分 22日(日) 午前10時～午後4時05分
開催方法 中部地区主催, Zoomによるオンライン開催
研究報告 総合司会 高橋祐介(11月21日), 竹本守邦(11月22日)

- 1 固定資産の価格をめぐる攻撃防御の構造—行政裁量論の視点から—(税法学583号参照)
馬場 陽
〔司会者〕 高橋祐介
〔質問者〕 青柳達朗, 伊藤雄太, 木村弘之亮, 竹本守邦, 谷口勢津夫, 中尾真和
- 2 シンポジウム基調報告(1): 地方税の法原則(税法学583号参照) 田中 治
- 3 シンポジウム基調報告(2): 住民税の特徴をめぐる諸問題と今後の方向性(税法学583号参照) 横山直子
- 4 シンポジウム基調報告(3): 固定資産税をめぐる紛争—固定資産税の性質に照らした検討—(税法学583号参照) 伊川正樹
- 5 NPO法人が行う障害福祉サービスを「請負業」として課税することの問題点(税法学583号参照) 金谷比呂史
〔司会者〕 山崎広道
〔質問者〕 木村弘之亮, 末吉幹久, 田中晶国, 田中 治, 谷口勢津夫

シンポジウム 地方税をめぐる法的諸問題 司会 高橋祐介, 八ツ尾順一
総 会 議長 林 眞義。【審議事項】①令和元年度収支決算承認。②令和2年度予算承認。③令和2年度会費請求の追認。④大会開催運営内規承認。⑤第111回大会開催日及び開催場所承認。⑥第111回大会におけるシンポジウム等の内容承認。⑦第112回大会(日本税法学会創立70周年記念)の開催日及び開催場所確認。⑧沖縄地区の役員交代承認。【報告事項】①会費未納者18名につき役員会で除籍が決定された。②入会申込者29名の入会が役員会で承認された。③日本税法学会創立70周年記念行事の検討状況が報告された。④日本税法学会規約改正の検討状況が報告された。⑤第113回以降の開催地区につき、第113回大会(2023年)を札幌大会としたことに伴い、開催地区に関する従来の予定を1年ずつ繰り下げ、九州地区(2024年), 中四国地区(2025年), 関東地区(2026年), 中部地区(2027年)を予定することが報告された。⑥吉澤俊二理事が担当してきた事務の一部を株式会社清文社に委託する

ことが報告された。また、吉澤理事の25年以上にわたる学会事務担当につき、理事長より感謝と慰労の言葉が伝えられた。

懇親会 オンライン懇親会が開催された。

出席者 190名（来賓0、賛助会員0、本部2、北海道・東北6、関東45、中部40、関西52、中四国13、九州25、沖縄7、入会希望者0）

第111回（586、705）

日時 令和3年6月12日（土）午前11時30分～午後5時20分 13日（日）午前10時～午後4時05分

開催方法 バーチャル税法地区主催、Zoomによるオンライン開催

研究報告 総合司会 高橋祐介

1 外国人等に対する源泉徴収制度に関する一考察—課税情報に着目した手続的保障の観点から—（税法学583号参照） 前田謙二

〔司会者〕 ハツ尾順一

〔質問者〕 青柳達朗、田中 治、谷口勢津夫、野一色直人、木山泰嗣、伊藤雄太、望月爾

2 シンポジウム基調報告(1)：租税回避分野の最高裁判例に見る租税法律主義の実相（税法学585号参照） 一高龍司

3 シンポジウム基調報告(2)：固定資産税分野の最高裁判例の検討—租税法律主義と裁量統制・立法裁量・司法的救済—（税法学585号参照） 田中晶国

4 シンポジウム基調報告(3)：手続法分野における租税法律主義の特色—最高裁判決にみる救済解釈等の手続法的解釈を中心に—（税法学585号参照） 木山泰嗣

5 消費税法における仕入税額控除の考察（税法学585号参照） 金子友裕

〔司会者〕 増田英敏

〔質問者〕 青柳達朗、木村弘之亮、加藤義幸、山田二郎、田中 治、藤間大順、泉 絢也、浦東久男、谷口勢津夫、小塚真啓、長島 弘、今村 隆、脇谷英夫、谷口智紀

シンポジウム 最高裁租税判例をめぐる法的諸問題—判例における租税法律主義の「実相」 司会 高橋祐介、西山由美

総 会 議長 山崎広道。【審議事項】①役員承認。②令和2年度収支決算承認。③令和3年度予算承認。④「税法学」（570号以後の号で発行後3年経過のもの）の学会ホームページ掲載承認。⑤「日本税法学会の歩み」の学会ホームページ掲載承認。⑥第112回（日本税法学会創立70周年記念）大会の開催日及び開催場所の確認。⑦第112回（日本税法学会創立70周年記念）大会の開催方法承認。⑧「税法学」の執筆要領の改定及び投稿規定の制定承認。⑨日本税法学会規約変更案承認。【報告事項】①会費未納者8名につき役員会で除籍が決定された。②入会申込者28名の入会が役員会で承認された。③「税法学」日本税法学会創立70周年記念号（586号）の進捗状況が報告された。④第113回以降の開催地区につき、第113回大会（2023年）は北海道・東北地区、第114回大会（2024年）は九州地区、第115回（2025年）は中四国地区、第116回（2026年）は関東地区、第117回（2027年）は中部地区を予定することが報告された。⑤投稿規定制定承認に伴い、査読体制の強化と編集委員長の負担軽減を図るため査読委員を指名する予定である旨が報告された。⑥国立国会図書館インターネット資料収集保存事業における学会インターネット資料の収集等に係る許諾要請に応じたことが報告された。

懇親会 オンライン懇親会が開催された。

出席者 193名（来賓0，賛助会員1，本部2，北海道・東北5，関東53，中部36，関西50，中四国11，九州31、沖縄5）